

明窓十句

今瀬剛一選

目高殖ゆふたり暮らしのしづけさに 三輪 よしぐ
本丸の跡たんぼほの穂絮吹く 岡崎 桂子
原子炉の村いささかの花疲れ 栗原 梅子
能面のうちに泣くこゑ艶の夜 橋本 公子
夏木立雨意の広ごる城の趾 安田 青葉
浜名湖の暮れ月見草暮れにけり 市川 十二代
するすると葉裏葉表てんと虫 斧田 綾子
昆布干す大海原となりゆけり 高橋 和恵
さみどりのテニスボールや風薰る 千綿 史
朝の雨静かに乗せて栗の花 笑子